



# 最終事業報告書

『スカイネット～想いをつなぐプロジェクト～』

同志社女子大学 sankaku 社

私たち sankaku 社は、同志社女子大学学芸学部メディア創造学科のプロジェクトプランニング演習という講義の受講生3人で構成された仮想企業です。プロジェクトプランニング演習は、イベントや商品開発といった事業を受講生自らが考案し実行するという講義であり、大学のキャンパスが立地する京田辺市の地域おこしをすることを講義全体の目的としています。私たちは、3人の共通点である芸術に目を向け、芸術を通して京田辺に貢献されてきた書道家の辻尾仁郎さんや京田辺市内の保育園を訪問させていただき、そこで得たことをもとに事業を考案し実行しました。以下 sankaku 社の『スカイネット～想いをつなげるプロジェクト～』の事業報告を行います。

## 1. 課題

私たちは事業を開始するにあたり、事業の目的や京田辺市における課題を設定するヒントを得るため、京田辺市在住の書道家・辻尾仁郎さんと京田辺市にある草内幼稚園のもとを訪問し、お話を伺いました。

辻尾仁郎さん（以下辻尾さん）は、書道家として小学校で毛筆の指導をされたり、学校の看板や公民館に飾られる作品を書いたりされています。そんな辻尾さんからは、自分の書いた作品が飾られた場所の思い出や、自分の作品を見たり、指導を受けたりした地域の人との間の会話やコミュニケーションについてのお話を伺うことができました。このお話から、自分の作品を展示することで自分と地域・地域の人とコミュニケーションから人とのつながりを感じることができる、という点に気づきました。

草内幼稚園では、定期的に近隣の小学校など園外の地域住民との交流活動を行っていたのが、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け交流活動の機会が減少している、というお話を伺いました。

私たちは、地域交流活動という園児たちにとって地域に住んでいる人と関わりやつながりを持つのに必要な機会が減少していることが、解決すべき課題であると感じました。『幼少期における子供のコミュニティへの参加の可能性—米国サービスラーニングの実践分析—から』(大町智)<sup>1</sup>では、子供が幼少期から地域コミュニティに参加する機会を得ることの重要性が述べられています。また、東北大学大学院「“地域への愛着”研究会」<sup>2</sup>は地域への愛着を形成する4つの要素の中の1つとして「人とのつながりを大切にする思い」を挙げて

---

<sup>1</sup> 『幼少期における子供のコミュニティへの参加の可能性—米国サービスラーニングの実践分析—から』大町智

<sup>2</sup> 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻 公衆衛生看護学分野・地域ケアシステム看護学分野“地域への愛着”研究会

<http://www.pubnurse.med.tohoku.ac.jp/aichaku/research/concept/index.html>

おり、子供が将来的に京田辺市に対してより大きな愛着を持つためにも地域交流の機会があることは大切だと言えます。

以上のことから、事業目的を「人とのつながりを感じ、京田辺市に愛着を持ってもらう」とし、解決したい課題を「子供たちの地域住民との交流機会の減少」と設定しました。

さらに、作品を通して地域の人とのつながりを感じた、という辻尾さんの経験は、感染症が流行して直接的な交流活動が難しい現状で活かすことができると考えました。子供たちと地域の人が作品を作ること・見ることを通じ、間接的であっても交流の機会を生むことができるからです。そこで、目的と課題解決を達成できるものとして、「子供たちが作品の制作・展示を通して地域の人とのつながりを感じることができるイベントの企画・運営」を事業内容としました。

## 2. イベント内容

### 概要

京田辺市松井山手にある松井ヶ丘保育園に通う子供たちに透明なビニール傘に絵を描いていただき、それを同じく京田辺市松井山手にある商業施設、ランチ松井山手に展示しました。また展示会場では、京都田辺ロータリークラブの皆様のご協力も得て来場者の方へ呼びかけを行って、子供たちの作品を見た感想や思いをメッセージカードに記入していただき、それを後日子供たちに届けました。

### 実施場所、日程

| 日付         | 内容                | 実施場所    |
|------------|-------------------|---------|
| 10月26日     | 傘のペイント実施1日目       | 松井ヶ丘保育園 |
| 28日        | 2日目               | 〃       |
| 11月5日      | 傘の設置作業            | ランチ松井山手 |
| 6日<br>～14日 | 傘の展示              | 〃       |
| 15日        | 傘の撤去作業            | 〃       |
| 19日        | メッセージカードを子供たちに届ける | 松井ヶ丘保育園 |

### 具体的な内容

鮮やかなカラーのビニール傘をワイヤーなどで上空に吊るす“アンブレラスカイ”を、この

企画では子供たちに透明なビニール傘に絵を描いてもらい展示するという形で行います。

この企画のポイントは作品を展示して終わり、ではなく鑑賞した地域の方の思いを書いたメッセージカードを子供達に届けることです。これにより間接的ではありますが、お互いに心のこもった交流を生み、子供達に地域の人とのつながりの大切さを感じてもらうことができます。子供たちが作品作りに親しみを持ち、その作品を通して非接触ながらも地域の人と交流できる企画です。

### アンブレラスカイという方法で作品の制作・展示を行うことの利点について

アンブレラスカイを行うことの利点は大きく分けて二点あります。

一点目は、子供たちが楽しんで作品制作をできるということです。ビニール傘に絵を描くことは普段とは違う特別感を得られ、絵を描くことにあまり興味のない子供でも積極的に楽しんで参加することができます。

二点目は、アンブレラスカイの話題性によってより多くの人に作品を見ていただくことができることです。アンブレラスカイはカラフルな傘が空を背景に、たくさん並んだり日差しを受けて地面に透けたりするその情景の美しさから、日本各地の商業施設のイベントとして日本各地で実施されています。その場所を訪れた人を楽しませることはもちろんですが、写真映えする様子はSNSでの拡散力や発信力があり（実際にSNSでは「アンブレラスカイ」というハッシュタグをつけた投稿が多くあります）、自社のSNSでの広報活動のみならず、実際に作品を見た人からの情報の発信に期待ができます。したがってより多くの人に園児たちがペイントした傘やこの活動の内容を届けることができ、それが結果的に子供たちと多くの人をつなげることができます。

以上の点から紙に絵を描いて展示する普通の方法と比較しても、絵を描く子供たちはもちろん、作品を見る地域の人たちに、より積極的により多くこの企画に参加していただくことができます。この事業の目的は人とのつながりを感じてもらうことです。よって子供たちに来場者の感想を届けるためにも、展示した作品をより多くの人に見ていただく必要があるので、アンブレラスカイという形はこの企画の目的にとって最適な展示方法です。

### 3. 収支報告

購入品等の収支報告は以下の通りでございます。

#### 収支内訳書

| 項 目                        | 金 額    |
|----------------------------|--------|
| ええまちつくろう事業補助金              | 33,000 |
| 同志社女子大学プロジェクトプランニング演習活動助成金 | 10,000 |
| 京都田辺ロータリークラブ様提供資金          | 20,000 |
| 合 計                        | 63,000 |

#### 支出内訳書

| 項 目    | 内 訳                                    | 金 額    |
|--------|--|--------|
| 傘のペイント | 透明ビニール傘 10P×6個                         | 10,098 |
|        | ターナーイベントカラー白×1個                        | 962    |
|        | ターナーイベントカラー黒×1個                        | 962    |
|        | ターナーイベントカラー赤×1個                        | 962    |
|        | ターナーイベントカラーレモン×1個                      | 962    |
|        | ターナーイベントカラーセルリアン×1個                    | 962    |
|        | ターナーイベントカラー黄緑×1個                       | 962    |
|        | ターナーイベントカラーピンク×1個                      | 962    |
|        | ペンてるハケ 10本組×1個                         | 6,963  |
|        | 振込手数料                                  | 165    |
| イベント   | メッセージカード 360枚×2個                       | 19,800 |
|        | シングルサテンリボン 10mm 一袋5巻入り×1個              | 1,570  |
|        | シングルサテンリボン 10mm×3個                     | 1,002  |
|        | ダイトーハント なまし鉄線×1巻 30m                   | 1,670  |
|        | アスクル ケーブルタイ結束バンド×1パック 100本入り           | 85     |
|        | アスクル カラーペーパー 特厚口 アイボリー A4×1冊<br>250枚入り | 1,188  |
|        | 木製イーゼル ナチュラル×1個                        | 2,068  |
|        | マグピンコルクボード LL×1枚                       | 3,685  |
|        | コピー代                                   | 350    |
|        | 合 計                                    | 55,378 |

## 4. 結果

私たちが行った『スカイネット』の事業により、様々な側面で成果を残すことができました。以下、3つの側面から得た成果を報告致します。

### ①地域連携的側面

直接的な地域交流をする機会が制限される現在ですが、自由に絵を描き作品を制作した子供たちと、作品を見てメッセージカードに思いをのせ、届ける地域の人々との双方向のやり取りを通して、温かい地域交流の場を作ることができました。

この企画は、sankaku社の社員3名だけでなく、松井ヶ丘保育園様、京都田辺ロータリークラブ様、ランチ松井山手様のご協力により成功しました。地域のことを常に考え、活動しているプロたちが事業運営に加わってくださったことで、さらに広く、深く、地域を巻き込むことができました。さらに我々同志社女子大学を含め、協力者それぞれとのつながりを作り出すことができ、今後の別のイベントや活動の機会へつながる可能性を生み出しました。

### ②幼児心理的側面

ペイントの際や、自分の作品が展示された会場に子供たちが足を運んだ時の様子について、松井ヶ丘保育園の先生から次のようなことを伺いました。

- ・メッセージカードを受け取った際には先生にメッセージカードを読んでもらったり、読める子どもがメッセージカードを読めない子に読んでいたりした
- ・自分たちの傘が飾られている様子を地域の方が写真に撮っている様子を目にして、子供達が感銘を受けてくれていた
- ・傘をペイントする際に、私たち大学生やロータリークラブの方々が見学に行ったことで良い緊張感を持って作品作りに取り組むことができた

この企画に参加することは子供たちにとっていつもとは違う経験になりました。

普段の保育園の作品制作では、子供たちは園外の人からの評価を受ける機会がなかなかないそうです。しかし、この企画では作品を見た地域の方からのメッセージカードが届くという、評価を目にする機会を得たことで、子供たちの自信や喜びにつながったと考えられます。さらに自分が作った作品が、園外の大きな施設に飾られたこと自体も制作意欲の向上や自信につながりました。実際に、スカイネット参加後に松井ヶ丘保育園で行われた生活発表会ではイベントに参加した4歳児の皆さんがとても良い発表をされたそうで、少なからずこのイベントへの参加がそれに影響したのではないかと保育園の先生からの評価を得ました。

加えて、傘をペイントする際に、私たち大学生やロータリークラブの方々が見学に行ったことで良い緊張感を持って作品作りに取り組むことができ、それが子供たちにとって刺激にもなりました。

### ③経済的側面

ランチ松井山手の駐車場の一般車両駐車台数をスカイネット開催時期とスカイネット実施直前の同期間で比較してみると、下記のように合計駐車台数が増加していました。それから、松井ヶ丘保育園はランチ松井山手の近くにあるので、松井ヶ丘保育園の親御さんが足を運んで頂いたことも考えると下記のデータよりも来客数が伸びたのではないかと推測されます。このようにスカイネットのプロジェクトは経済的側面からも効果があったことがわかります。

| スカイネット開催期間中 |   |                     |       |
|-------------|---|---------------------|-------|
| 2021/11/6   | 土 | マツシマオートフェス / スカイネット | 1,023 |
| 2021/11/7   | 日 | マツシマオートフェス / スカイネット | 933   |
| 2021/11/8   | 月 | スカイネット              | 541   |
| 2021/11/9   | 火 | スカイネット              | 661   |
| 2021/11/10  | 水 | スカイネット              | 652   |
| 2021/11/11  | 木 | スカイネット              | 707   |
| 2021/11/12  | 金 | スカイネット              | 730   |
| 2021/11/13  | 土 | のほほんとし / スカイネット     | 1,159 |
| 2021/11/14  | 日 | のほほんとし / スカイネット     | 1,035 |
| 合 計         |   |                     | 7,441 |

| スカイネット実施直前同期間 |   |                |       |
|---------------|---|----------------|-------|
| 2021/10/23    | 土 | トレイン / ハロウィン装飾 | 998   |
| 2021/10/24    | 日 | トレイン / ハロウィン装飾 | 952   |
| 2021/10/25    | 月 | ハロウィン装飾        | 692   |
| 2021/10/26    | 火 | ハロウィン装飾        | 664   |
| 2021/10/27    | 水 | ハロウィン装飾        | 628   |
| 2021/10/28    | 木 | ハロウィン装飾        | 671   |
| 2021/10/29    | 金 | ハロウィン装飾        | 778   |
| 2021/10/30    | 土 | ハロウィン装飾        | 972   |
| 2021/10/31    | 日 | ハロウィン装飾        | 853   |
| 合 計           |   |                | 7,208 |

また、SNS(Instagram)では自社での宣伝活動だけではなく展示を見に訪れた人による、「#アンブレラスカイ」「#スカイネット」というハッシュタグでの投稿も見受けられました。アンブレラスカイの写真映えするという利点を生かし、この企画内容や園児たちの作品、京田辺の名前を世界中に発信することができました。実際に SNS を見て会場を訪れたと話してくださった方もいて、宣伝効果があったと言えます。このことも経済的な効果へとつながったと考えられます。

### まとめ

「スカイネット」の事業を通して得た成果をまとめると以下のようになります。

- ・子供たちと地域住民と交流の場を与え、つながりを生んだ
- ・企画に協力してくださった方々と私たち学生をつながりを生んだ
- ・子供たちに教育的・心理的に良い影響を与えた
- ・作品の展示会場となった商業施設で一定の経済的効果を生んだ

自分が生活している地域へは、必ずある程度愛着が生まれるものです。一方で『地域に対する愛着形成機構－物理的環境と社会的環境の影響－』（弘地 博之他）<sup>3</sup>では、愛着の度合いに居住年数は関係なく、地域イベントへの参加というような経験や地域住民と交流を持つことによって、地域への愛着を高めることができると述べられています。

したがって、このイベントへの参加やそれにより地域住民との交流の機会を持ったことは、参加した子供たちがこの先京田辺市への愛着を深めるきっかけになったと期待できます。もちろん心理的・教育的な効果や、商業施設への経済的効果というすぐに目に見える効果を得ることができたことも成果です。しかしそれに加えこのイベントは、今回限りの地域活性化だけでなく、参加した子供たちがより深く地域への愛着を持つという、京田辺市の今後の発展につながっていく重要な効果を得ることができたと考えています。

### sankaku 社

岸 史花（社長）

遠藤 夢奈

中村 奏穂

---

<sup>3</sup> 『地域に対する愛着形成機構－物理的環境と社会的環境の影響－』（弘地 博之・青木俊明・大淵憲一）